

製品名: NR1H2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82744**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	NR1H2
別名	NER; UNR; LXRB; LXR-b; NER-I; RIP15
遺伝子 ID	7376.0
SwissProt ID	P55055
免疫原	大腸菌で発現したヒト NR1H2 (AA:1-200) の精製された組み換え断片。

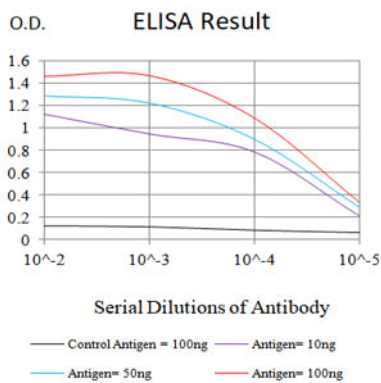
背景

肝臓 X 受容体である LXRA (NR1H3; MIM 602423) と LXRB は、核内受容体スーパーファミリーのサブファミリーを形成し、マクロファージ機能の重要な調節因子として、脂質恒常性と炎症に関与する転写プログラムを制御します。誘導性 LXRA は肝臓、副腎、腸

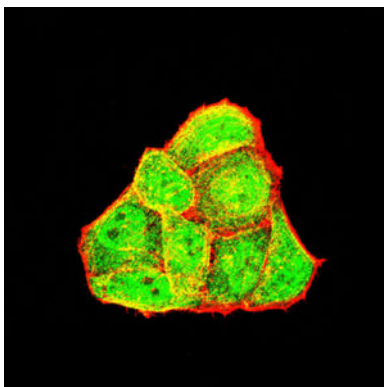
管、脂肪組織、マクロファージ、肺、腎臓で高発現していますが、LXRB は普遍的に発現しています。リガンド活性化 LXR は、レチノイド X 受容体 (RXR; MIM 180245 参照) と必須ヘテロ二量体を形成し、LXR 応答配列を含む標的遺伝子の発現を制御します (Korf による要約、2009 年 [PubMed 19436111]) 。

研究分野

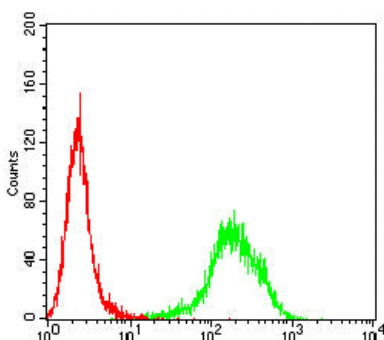
画像データ



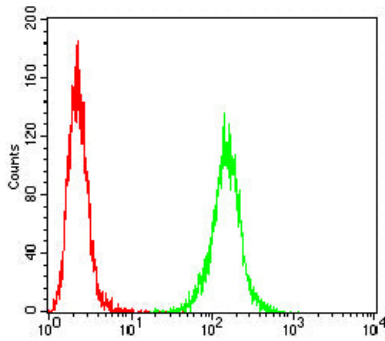
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



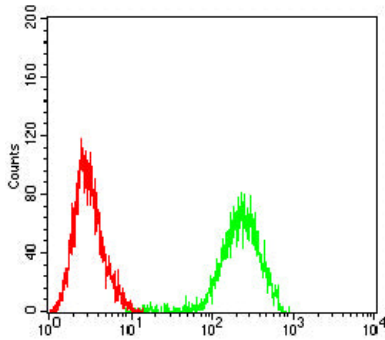
NR1H2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



NR1H2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した A375 細胞のフロー サイトメトリー分析。



NR1H2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



NR1H2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。